

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	12-085	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption patterns and sexual risk behavior among female sex workers in two South Indian communities. 南インド地域の性産業従事女性におけるアルコール摂取パターンと危険のある性行動		
執筆者		
Heravian A, Solomon R, Krishnan G, Vasudevan CK, Krishnan AK, Osmand T, Ekstrand ML.		
掲載誌		
Int J Drug Policy. 2012 Nov;23(6):498-504.		
キーワード		
アルコール、性産業従事女性、HIV、インド、定量的研究		
要旨		
目的： インドでのHIV感染は主として異性間で発生し、特に性産業従事女性において多くみられる。先行研究により多くの性産業従事女性では性従事の前に定期的に飲酒することが示された。本研究は大規模研究の一部であり、性産業従事女性における飲酒パターンと危険のある性行動の関連について検討した。性産業従事女性におけるアルコール摂取の環境影響と理由、および因果関係について調査した。		
方法： チララの63人(アンドラプラデシュ35人、カリカット、ケララ28人)の性産業従事女性を対象として、アンドラプラデシュとケララの2つの民間公益団体の訓練されたスタッフにより、半構造化インタビューが実施され、飲酒パターンと危険のある性行動の関連が検討された。		
結果： 性産業従事女性のアルコール摂取の背景には、性、社会、精神衛生、自己治療があった。性的従事中の飲酒は通常強制であるが、数人の女性は自発的に飲酒していた。バーのような公衆や、廃墟ビルや道路、オートバイタクシーのような私的空間で、社交的飲酒をおこなう。アルコール摂取の結果、避妊具の使用失敗や客との正確な金銭授受、暴力、法的問題、消化管への影響、経済損失、家族の責任への干渉などがおこる。		
結論： 性産業従事女性のアルコール摂取は複数の理由による。性従事中のアルコール摂取は、しばしば強制的で、避妊具使用の失敗へとつながる。社交的飲酒家は、信頼できる性産業従事女性と、娯楽および精神社会的ストレスの対処のために飲酒する。彼らの飲酒の結果とその理由については、特異的な側面を対象にしたさらなる介入が必要である。		